

C142

多摩市コミュニティーセンター、高齢者デイサービスセンターの  
利用構造に関する分析

—多摩ニュータウン地域公共施設の再編成計画に関する研究シリーズ—

The Series of Studies on the Structural Reform of Community Facilities

Network System in Tama Newtown

上野 淳 (教授) 倉斗 綾子 (COE研究員) 松生明子 (修士課程) 坊上南海子 (修士課程)

Jun UENO(Prof.), Ryoko KURAKAZU (COE Researcher),

Akiko MATSUIKE (Master Course) and Namiko BOJO(Master Course)

ABSTRACT

The purpose of this paper is to analysis the relationship between the actual situation of utilization of community centers and its facility function and location. For this end, this study conducted the questionnaire investigations to all of the users of 7 community centers in Tama City on holiday and weekday. Consequently, we gained the results as follows:

1) Analyzing the user's attribution, attending measure, purpose of activities and used space, the characteristics of actual situation of community center utilization were revealed. 2) The geographical sphere of utilization was examined and the facts that 80% sphere of community center users' reach from 800m to 2,000m, and sphere of user on foot, elderly and children are also about 800m, are revealed. 3) The major type of users were extracted and classification of type of community centers is suggested.

キーワード：多摩ニュータウン，地域公共施設，利用構造，  
コミュニティーセンター，高齢者デイサービスセンター

Keywords: Tama Newtown, Community Facilities,  
Community Center, Day-Service Center

1. 研究の概要

多摩ニュータウン地域公共施設ネットワーク再編成に関する研究シリーズのうち，本年度は多摩市域のコミュニティーセンター，高齢者デイサービスセンターの利用構造解析について成果が得られた。それぞれ，多摩市市民活動推進課，高齢福祉課との協同によっている。いずれも修士論文としてまとめられたが，日本建築学会技術報告集へ投稿準備中。主要な地域公共施設ネットワークの利用構造を一つひとつ吟味していくなから，ネットワーク全体の再編成について提案を行う予定。ここでは，コミュニティーセンター（以下：C.C.）について得られ

た主要な成果を報じる。（高齢者デイサービスセンターについての成果は参考資料を参照されたい）

2. 多摩市コミュニティーセンターの利用構造（概要）

1) 多摩市では計画的・段階的にC.C.の整備を行ってきており，7館が整備済み，2館の開設を予定している。  
2) 既設7館の利用状況について，平日・休日の終日にわたって悉皆的に利用者アンケート調査を行った。  
3) 利用者の属性，来館手段，利用場所・利用内容などについて分析を行い，年代，性別の利用者属性や各館の立地・施設構成による利用特性を明らかに

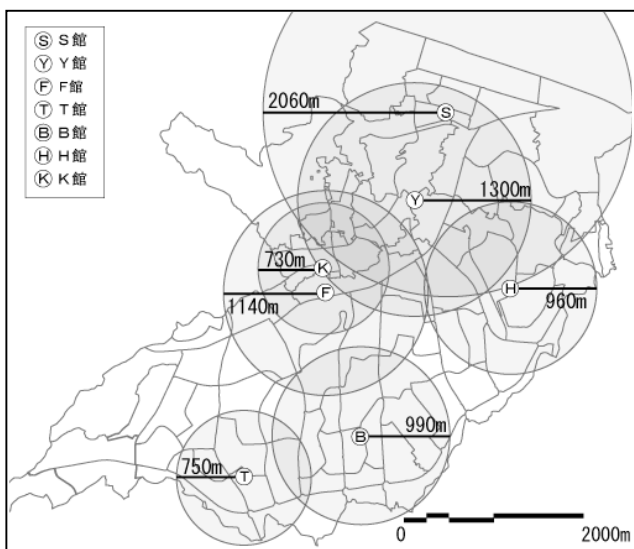


図1 各館の80%利用距離

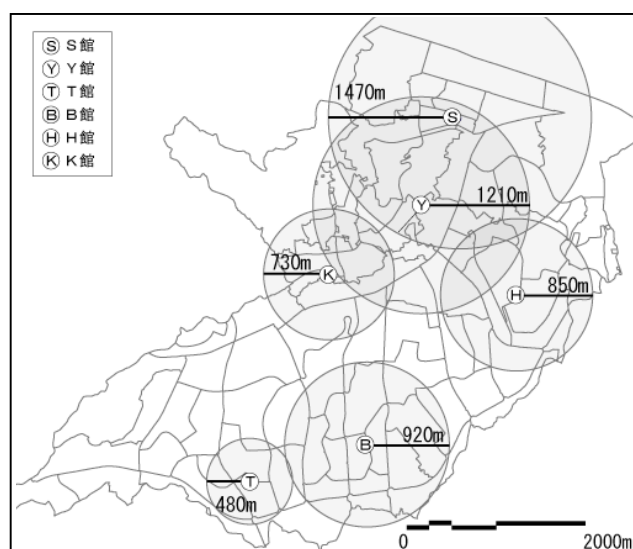


図2 各館シルバーサロンの80%利用距離

した。

4) 利用者の居住地分析から利用距離, 利用圏についての知見を得た(図1, 2)。館の立地や施設構成によって利用圏域の大きさは異なり, 80%利用距離は2,000m~800mに及ぶ。高齢者の利用距離はこれより小さい。来館手段により利用距離は異なり, 徒歩利用圏は800m, 高齢者や子供はこれに準ずる(図3)。

5) 利用者属性や利用内容について類型化を行い, 主要な利用者像を導いた(図4)。

6) 各館の立地条件や施設構成によってこうした主たる利用者タイプの出現は影響を受ける。この関係を総合的に分析し, C.C.の利用のされ方を, 遠距離・サークルType, 中距離・混合Type, 近距離・フリー/シルバーTypeの3種類に類型化した(図5)。

6) 多摩市では, 諏訪・永山地区の廃校校舎となった東永山小学校を地区コミュニティーセンター

へと活用する計画がある。以上, コミュニティーセンターの利用構造を総合的に明らかにした知見をC21プロジェクト[学校跡施設のコミュニティーセンターへのコンバージョン計画]へ適応し, 計画条件を設定し, モデルプランを提示した。

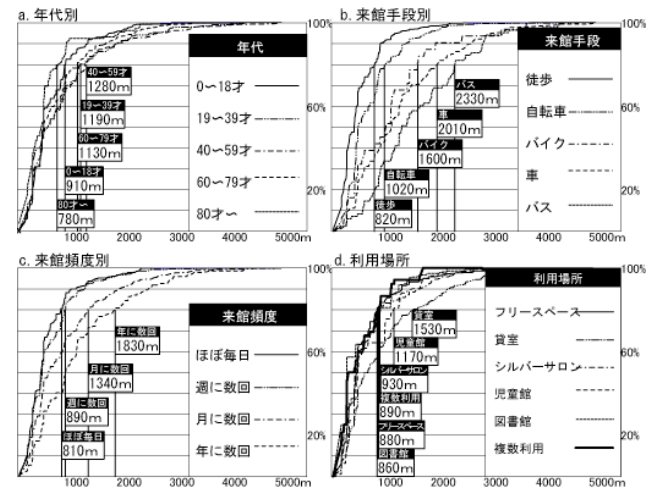


図3 利用者の属性・利用状況と80%利用距離

| タイプ名        | 年齢             | 利用頻度           | 主な場所                | 来館距離  | 特徴   |
|-------------|----------------|----------------|---------------------|-------|--|
|             | 0才~19才・40才~60才 | 毎日 週回数 月回数 年回数 | F.S. 貸室 S.S. 児童館図書部 | 近 中 遠 |  |
| ①主婦/生徒・談話   | ●●●●●          | ●●●●●          | ●●●●●               | ●●●●● | ○ 平日の午後の主婦や中高生に多く見られ, 近隣より来館し, F.S.で会話・飲食・休憩を行う。 |
| ②多世代・学習     | ●●●●○          | ●●●●○          | ●●●●○               | ●●●●○ | ○ 中高生は平日の夕方, 社会人は休日に多く見られF.S.にて勉強・読書を行う。高齢者は新聞。  |
| ③小学生・遊び     | ●●●●○          | ●●●●○          | ●●●●○               | ●●●●○ | ○ 平日の午後に多く見られ小学生以下が多い, F.S.にて遊び・待ち合わせを行い出入りが頻繁。  |
| ④主婦/無職・鑑賞   | ●●●○●          | ●●●○●          | ●●●○●               | ●●●○● | ○ F.S.における掲示物から情報収集。ギャラリーのある館においては作品鑑賞を含む。       |
| ⑤親子・遊び      | ●●●●○          | ●●●●○          | ●●●●○               | ●●●●○ | ○ 近隣より小学生以下の親子が月に数回の頻度で来館, F.S.や児童館で遊ぶ。平日に多い。    |
| ⑥サークル活動・近距離 | ○●●●○          | ○●●●○          | ○●●●○               | ○●●●○ | ○ 60~79才の年代が最も多く, 近隣より来館, 月に数回の頻度でサークル活動をしている。   |
| ⑦サークル活動・遠距離 | ○●●○●          | ○●●○●          | ○●●○●               | ○●●○● | ● 40~59才の年代の割合が多く遠方より来館, 月に数回または年に数回の頻度で活動している。  |
| ⑧高頻度・近距離入浴  | ●●●●○          | ●●●●○          | ●●●●○               | ●●●●○ | ○ 多くが入浴のために近隣から毎日来館する。80才へはその傾向は強まり, 女性が大部分を占める。 |
| ⑨囲碁・談話・中距離  | ●●●○●          | ●●●○●          | ●●●○●               | ●●●○● | ○ 談話・囲碁・将棋等のためにS.S.を利用。⑥に比べ利用頻度は低く, 遠方からも来館する。   |
| ⑩多世代・図書貸借   | ●●●●○          | ●●●●○          | ●●●●○               | ●●●●○ | ○ 図書の貸し借りにために近隣より来館, 年代は幅広く, 利用頻度は週に数回から月に数回程度。  |

図4 コミュニティーセンターの利用者像

| 館タイプ           | 遠距離・サークルタイプ   | 中距離・混合タイプ  | 近距離・フリー/シルバータイプ  |  |  |
|----------------|---|--|--|--|--|
| 施設名称           | S館: 関・一つむぎ館 Y館: ゆう桜ヶ丘   | F館: 畑田・興丸おれおれ館 B館: 貝取こぶし館 H館: ひじり館   | K館: 愛宕かえで館 T館: トムハウス   |  |  |
| 施設構成           | シルバーサロン<br>健康センター<br>貸室(3室)   | 児童館<br>児童館・学童<br>貸室(6室)  | シルバーサロン<br>貸室(9室)<br>図書部<br>貸室(7室)   | シルバーサロン<br>デイサービス<br>貸室(10室)   |  |
| 地域・立地          | 既存地域<br>幹線道路より一本入る  | 既存地域<br>戸建住宅地  | ニュータウン地域<br>中層住宅地<br>軽線道路より一本入る  | ニュータウン地域<br>中層・戸建住宅地<br>ベドストリアンデッキ接続   |  |
| 半径400m以内の主な施設等 | 交通: 駅<br>バス停<br>繁華街・オフィス街   | バス停  | バス停  | バス停  |  |
| 買物             |   |  | 住区センター   | 住区センター   |  |
| 学校             |   | 小学校<br>中学校   | 小学校<br>中学校   | 小学校<br>中学校   |  |
| 公園             | 公園<br>市民館   | 公園<br>市役所・図書館・ホール<br>デイサービス  | 公園<br>K館   | 公園<br>F館<br>児童館  |  |
| ①主婦/生徒・談話      |   | 40~59才の年代が最も多く見られる   | 10代が最も多く, 次いで19~39才が多い   | 10代が最も多く, 次いで19~39才が多い   |  |
| ②多世代・学習        |   | 各年代に少数見られる。新聞・読書が中心  | 10代は勉強, その他は読書・新聞  | 各年代ともに利用者が見られる   |  |
| ③小学生・遊び        |   | 児童館の利用者が特に多い   | 主に小中学生が隣接する公園と運動して利用   | 主に小中学生で, 待ち合わせ場所として利用  |  |
| ④主婦/無職・鑑賞      |   | 60~79才が多くギャラリーで作品鑑賞を行う   | 地域の情報等の掲示物を見に来る利用者   | 少数だが掲示物を見に来館する利用者  |  |
| ⑤親子・遊び         |   | 19~39才の親と小学生以下の子供が多い   |  | 60~79才の年代と10代以下の組み合わせ  |  |
| ⑥サークル・近距離      | 近距離のサークルは少数比較的高齢者が多い  | 60~79才の年代が大部分を占める  | 主に60~79才だが, 他の年代も見られる  | 主に60~79才の年代の利用者で遠距離よりも多い   |  |
| ⑦サークル・遠距離      | 他館に比べ遠方より来館する者が多い   | 各年代の遠方からの利用者が見られる  | 利用頻度が低く, 特に遠距離から来館する   | 主に60~79才の年代の利用者が多い   |  |
| ⑧高頻度・近距離入浴     | 他館に比べ遠方より来館本数が多いため, 各タイプともに遠距離からの来館者が見られる                                 | S.S.の利用者の大部分がこのタイプ   | 徒歩+自転車が多い割りに来館距離は遠い  | 60~79才と80才への年代が半々で徒歩が遠距離から来館   |  |
| ⑨囲碁・談話・中距離     |   | 他館に比べ遠方より来館サークルを行う利用者も   | 利用者年代は60~79才のみ   | 各年代が見られ, 特に19~39才が他に比べて多い  |  |
| ⑩多世代・図書貸借      |   |  |  |  |  |
| 立地・施設構成からの影響   | 回-休賃室とシルバーサロンの構成のため, これらのタイプは少ない。出-駅から近いバスの便が良いため, 各タイプともに遠距離からの来館者が見られる。 | 回-火周辺が戸建のため, 住居から離れた行為を行うタイプは少ない。水-ギャラリーの設備が良く作品が集まるため。金-既存地域のため地域の繋がりが強く, イベント準備等を含め近隣住民による利用が多い。土-児童館の雰囲気や豪華なためそれぞれ遠方からも利用者が多い。隣近隣の高齢化率が高い | 火-小学校が近く, 公園に隣接しているため, 子供の遊びの場として利用されるタイプが多い。金-既存地域のため地域の繋がりが強く, イベント準備等を含め近隣住民による利用が多い。土-児童館を有するため親子タイプが多い。出-駐車場を有し, 幹線道路沿いのため, サークル利用者は遠距離より車での来館。楽-コミュニティーセンターが無いエリアNからの来館者が多いため。 | 回-火-小中学校の通学路上にあるため。出-近隣の高齢化率が高いため, 特に利用頻度が高い。水-児童館を有するため親子タイプが多い。土-児童館を有するため親子利用が見られる。金-ニュータウンの中でも比較的古い地域のため, 利用者同士がすでに親なじみである場合が多くこのタイプが多い。 | 回-火-小中学校の通学路上にあるため。出-近隣の高齢化率が高いため, 特に利用頻度が高い。水-児童館を有するため親子利用が見られる。土-児童館を有するため親子利用が見られる。金-ニュータウンの人口密度が高く, 住居からの溢れ出しの行為が多い。火-小中学校の通学路上のため, 放課後利用が目立つ。土-児童館を有するため親子利用が見られる。金-閑静な環境で人口密度が高いため。 |

図5 利用者像からみたコミュニティーセンターの類型